

大 洲 水 難 1

令和3年度

水難救助車の製造

仕様書

市川市消防局 企画管理課

目 次

1	総 則	・・・・・・・・	1
2	仕 様	・・・・・・・・	2
3	ぎ 装	・・・・・・・・	3
4	資 機 材	・・・・・・・・	7
5	検 査	・・・・・・・・	9
6	保 証	・・・・・・・・	9
7	そ の 他	・・・・・・・・	9
8	別 表	・・・・・・・・	10

第1 総 則

- 1 この仕様書は、市川市消防局（以下「当局」という）が令和3年度に整備する水難救助車（以下「車両」という）の製作及びこれらに関する仕様について定める。
- 2 車両は、この仕様書がすべて満足されるものでなければならない。
- 3 車両は道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車として承認が得られること。
- 4 受注者は、本仕様書を十分検討の上契約するものとし、契約後製作途上において生じた一切の疑義は、全て当局の解釈に従うものとする。
- 5 受注者は、製作に先立ち本仕様書細部について協議を行い、承認図書を提出すること。なお、仕様書に変更の必要を認めるときは確認の図書（議事録）を取り交わすこと。

6 提出書類

- (1) 受注者は製作に先立ち、仕様書に基づく次の製作承認図書を90日以内に提出するものとする。

ア 着工届	1部
イ 内訳書	3部
ウ シャシ等諸元表	3部
エ シャシ外観図（5面）	3部
オ 電気配電図	3部
カ 製作工程図	3部
キ ぎ装図	3部
ク 主任技術者通知書	1部
ケ その他当局が指示するもの	

- (2) 受注者は、完成納入時に次の書類を提出すること

ア 完成図	3部
イ 完成配線図	3部
ウ 各種取扱い説明書（車両・ぎ装・資機材）	2部
エ 各種保証書	1部
オ 諸元表（シャシ、積載品等）	3部
カ 車両ぎ装（塗装）工程写真	3部※
キ 完成車両の写真（前後左右、左右斜め前、車上）	3部※

※提出写真は①前後、②左右、③車両上部をA4用紙にカラー印刷したものとする。

第2 仕様

1 シャシ諸元及び性能

使用するシャシは、最新の排ガス規制をクリアーした車両で、2021年製シングルキャブ型ハイルフで、キャブと荷室が一体型のものとする。車体構造は、本仕様によりメーカーの標準自動車の一部改造及びぎ装するもので、その構造は振動、衝撃等を十分に緩衝できる車体とし、あらゆる走行条件に対して、安全かつ安定性を持つものであること。

なお、本仕様に記載のない性能、諸元及び装備は自動車メーカーが公表したものと合致すること。

- (1) 4トン級シングルキャブ型ハイルフ
- (2) 駆動方式 : 4輪駆動方式
- (3) トランスミッション : マニュアルトランスミッション
- (4) 最高出力 : 177kW以上
- (4) エンジン排気量 : 5100cc以上
- (5) ホイールベース : 4.3m以下
- (6) 車両総重量 : 8トン未満
- (7) バッテリー : 本仕様において、十分耐えられるもの
- (8) オルタネーター : 必要容量の得られるもの、またはシャシ最大のもの
- (9) タイヤ : オールシーズンタイヤ (アルミホイール)
- (10) ブレーキ : ABS装置付き

2 装備品

- (1) メッキグリル
- (2) フロントバンパースポイラー
- (3) 電動格納式ミラー (熱線入り)
- (4) LEDヘッドライト
- (5) LEDフォグランプ
- (6) LEDコンビネーションリアランプ
- (7) サイドバイザー
- (8) サンバイザー (運転席及び助手席)
- (9) SDカーナビゲーション (テレビ機能については受信できないものとする)
- (10) 坂道発進補助動力装置
- (11) 泥除け (全輪)
- (12) エンジン回転計・油温計
- (13) エアコン (前、後部座席)

- (14) ドライブレコーダー
- (15) 車幅灯・路肩灯
- (16) 電流計・電圧計・油温計
- (17) LED式室内灯
- (18) 大型デジタル式時計（キャブ及び資機材庫内）
- (19) 集中ドアロック
- (20) バックアイカメラ
- (21) バウシヤックル2個（車両前部、強度を明記すること）
- (22) ナンバーフレーム

3 取付品

別表の通りとし同等以上の性能を有する品を主張する場合は、事前に性能資料を提出し、当局の承認を得ることとする。

第3 ぎ 装

キャブは堅牢な天蓋及びドアを有したシングルキャブ型でハイルーフ仕様と、キャブと収納庫が一体型の構造とすること。

1 完成車の寸法及び、重量

- | | | | |
|---|-------|---|----------|
| ア | 全 | 長 | 8.00m以下 |
| イ | 全 | 幅 | 2.50m以下 |
| ウ | 全 | 高 | 4.00m以下 |
| エ | 車両総重量 | | 8.00トン未満 |
| オ | 乗車人員 | | 6名以上 |

2 キャブ及び車体外装

- (1) 消防章（直径15cm）を車両前部に取り付けること。
- (2) キャブフロントに乗降用グリップ（メッキ）を設ける。
- (3) フロントバンパー上面はできる限り張り出し、アルミ縞板張りとする（詳細は、別途協議）。また、牽引用バウシヤックルを2個取り付けること。
- (4) キャブルーフは、ハイルーフとし、散光式赤色警告灯一体型若しくはキャブ上部に赤色灯を11個以上連発埋め込みで設置する。
また、ハイルーフ両側面に隊名標識（赤色地に白文字）を設ける。
- (5) フロントグリル内に2個及びフロントバンパー側面に2個、各補助赤色点滅灯を設けること。取り付け部については別途指示する。

- (6) 車体両側面は嵩上げ加工を施し、赤色点滅灯及び作業灯を左右各4個設けること。
- (7) 車両後部に赤色点滅灯及び作業灯（保護枠付き）を各2個設けること。
- (8) 車両側面に上部へ昇るステップ又は梯子を設けること。
- (9) 車両左側面に隊員乗降用ドアを設けること。
- (10) 車両後部にパワーゲートを設けること。パワーゲートの地上設置部等傷が付きやすい部分には、アルミ縞板等保護板を取り付けること。
また、ゲートフロアは転倒防止のため、アルミ縞板張りとする。
- (11) 車両上部は、アルミ縞板張りとし、ゴムボート（水難救助艇）が積載できる仕様にする。ゴムボートの積載方法は、手動昇降措置を設けて積載できるようにすること。
- (12) 車両上部にゴムボートを固定するためのフック等を必要数設けること。
- (13) 車両上部に夜間でも安全に作業ができるよう、LED照明を設ける。
- (14) 左右後輪付近にLED路肩灯（スモール連動）を設けること。また、車体両側面に車幅灯を必要数、タイヤハウスにLEDテープを設けること。
- (15) 車両側面にシャッターを設け、シャッター内は2～4段の棚を設けること。また、潜水器具が取りやすいように設置すること。
- (16) バッテリーは、点検が容易な構造とし、マグネットコンセントにより充電ができる構造とすること。車両両側面下部にできる限り収納庫を設けること。
- (17) 車両に、簡易シャワーを設ける。
- (18) 車両に200ℓ清水タンク及び水を温めるための電気ヒーターを設ける。
- (19) 車両後部にけん引フックを設ける（強度明記、外れ防止機能付き）。
- (20) 車両側面に隊員のプライバシーを守るための簡易テントが建てられ、テントが固定できるような施工を行うこと。

3 キャブ室内

- (1) 前席は、運転席を含め2席設けること。シートは汚れ等が付着した際も簡単に除去できる汚染シートカバーを（青×黒）張ること。
- (2) 前席中央部に取り外しが可能なセンターコンソールボックスまたはトレイを設置すること。
- (3) 隊長及び運転者用のヘルメットホルダーを設けること。
- (4) 携帯型拡声器及び警戒棒のホルダーを必要数設置すること。
- (5) 電装関係
 - ア 運転席の見やすい位置に電圧計及び電流計を設けること。
 - イ 運転席、隊長席にフレキシブルライトを取り付けること。

ウ オーバーコンソール等、運転席、助手席から操作しやすい場所にサイレンランプ10連スイッチボックス、消防無線機及びAVM装置を取り付けること。

また、電装品スイッチについては、運転席から操作が容易に行える構造・位置とし、スイッチ類には必要な照明及び名称表示を設置すること。

エ 各電装品のヒューズボックスを点検のしやすい位置に増設し表示をする。

オ 10連スイッチを設けること。取り付け場所、スイッチの並びについては別途協議。

カ 各種スイッチ・計器類の夜間操作が容易に出来るように照明及び名称板を取り付けること。

キ バックアイカメラ（カラー液晶）を取り付ける。

ク ドライブレコーダーを取り付ける（取り付け位置は別途協議）。

ケ 外部入力コンセント（防水構造磁石式）を設け、車両バッテリーを充電できるものとし、更にキャブ内及び収納庫内に2口コンセント（100V）を設け、各種電装品の充電ができる構造とする。また、走行中はインバーターによる電源供給（定格出力1口250W以上）ができるものとする。

上記作業について、作業工程等は受注者側が調整を図るものとする。

コ 可能な限り車両四隅に障害物接近警報センサーを取り付けること（取り付け位置は別途協議）。

(6) 消防無線装置等の取り付け作業を行うこと。

デジタル消防無線機・車両動態表示システム（AVMシステム）は、現行車両からの積載替えを行うこと。

ア 車両動態表示システムの本体及びユニットは、現行車両からの積載替えとし、その他の部材（コード・取付け金具等）等は製作者側が全て用意し取り付け、費用は製作者側が負担すること。

イ デジタル消防無線装置の本体は、現行車両からの積載替えとし、その他の部材（受話器・アンテナ・コード・取付け金具、送受話器、アンテナ等）は製作者側が全て用意し取り付け、費用は製作者側が負担すること。

また、外部スピーカー、外部無線機を車両両側面に取り付け、内・外のスピーカー切り替えスイッチを設けること。

ウ その他、必要な作業が発生した場合は製作者側が対処すること。

3 収納庫内

(1) 収納庫前部に座席を4個以上設け、シートは汚れ等が付着した際も簡単に除去できる汚染シートカバーを（青×黒）張ること。また、座席にはすべてシートベルトを設けること。

(2) 左側面の乗降ドアから収納庫内に、容易に乗降できる構造とし、夜間でも安全に乗降できるようにLED照明を設けること（ドア開閉連動）。

- (3) 天井部に可能な限り、強度の優れたステンレス製パイプを設けること。
- (4) 収納庫内に収納棚を必要数設けること。
- (5) 隊員用のヘルメットホルダーを座席数設けること。
- (6) 床面は、全面アルミ縞板または同等のものを敷くものとする。また、側面下部（床面から約15cmの高さ）に蹴りこみによる傷を防止するため、アルミ保護板を設けること。
- (7) 収納庫にカーゴテナーを固定するためのラッシングベルトレールを側面上下2ヶ所に設置すること（設置位置は別途協議）。
- (8) 収納庫後部に船外機2機が収納できる棚又は木枠等を設けること。
- (9) 収納庫内にエアコンを設けること。
- (10) 収納庫内を安全に移動できるよう、照明灯を取り付ける。
- (11)（収納庫座席から左右後方が確認できるようカメラを取り付け、収納庫座席に液晶モニターを取り付ける。
- (12) 収納庫に窓を設けて、収納庫内の換気等が容易にできるようにすること。

4 塗装等

- (1) 車体は錆落とし等、塗装に必要な下地処理を十分に行い、市川市指定色で3回以上吹き付け塗装を施し、クリアー仕上げを行うこと。
- (2) 文字の記入については、次の表のとおりとする。※

場所	記入文字	文字書体・色
フロントパネル	市川	丸ゴシック 白反射
フロント上部	ICHIKAWA WATER RESCUE	当局と協議
車両側面	市川市消防局	丸ゴシック 白反射
	ICHIKAWA CITY FIRE BUREAU	明朝斜体 白反射水色縁
	市川市水難救助隊	
	WATER RESCUE	
	千葉県	丸ゴシック
	大洲水難1	白反射黒縁
	CHIBA	丸ゴシック 白反射
	稲妻（スワロー）マーク	白反射水色縁
	黒線	黒反射
車両後部	千葉県	丸ゴシック 白文字 黒縁反射
	市川市消防局	
	ICHIKAWA CITY FIRE BUREAU	
	水難救助隊	
	大洲水難1	

※文字の大きさ、配置場所については別途協議。

- (3) その他必要に応じて、当局が指示する文字及びデザインを指定した箇所に行うこと。

第4 資 機 材

1 船外機（トーハツ MFS20EWEFL）または同等品

(1) 緒元

- ア エンジン 水冷4ストローク2気筒
- イ 定格出力 20ps程度
- ウ 操舵方法 ティラーハンドル
- エ スターター 手動及び電動
- オ 充電 12V充電装置

(2) 付属品

- ア 当局仕様のゴムボートへの取り付け品一式
- イ プロペラガード
- ウ 船外機用台車

(3) その他

船外機に「市川市消防局」と白色丸ゴシック反射テープで記載すること。サイズ及び位置については当局と協議。

2 ウェットスーツ

(1) ジャケット (TUSA RS119W1)

- ア 生地厚については、5mm以上であること。
- イ 素材については、表面はスーパージャージ、裏地はエラスティック素材を使用し、動きやすいものとする。
- ウ 擦れ、破れが生じやすい肘部等に高耐久ジャージまたは、補強パットを使用すること。
- エ 前合わせはファスナー止めとする。袖口はファスナー止めとする。
- オ 前掛け付き、フード付きとする。
- カ リフレター（反射材）を取りけること。場所、数量については別途指示する。
- キ 左胸に「市川市消防局」、背面に「千葉県」「市川市消防局」「水難救助隊」と名入れすること。文字の大きさ、位置、色については当局と別途協議すること。

(2) パンツ (TUSA RS119W1)

- ア 生地厚については、5mm以上であること。

- イ 素材については、表面はジャージ、裏地はエアーストレッチ素材を使用し、動きやすいものとする。
- ウ 擦れ、破れが生じやすい膝、臀部に高耐久ジャージまたは、補強パットを使用すること。
- エ 手首、足首は、標準ファスナーを取り付ける。
- オ 肩止め部は、左肩をマジックテープ止めとする。
- カ リフレクター（反射材）を取りけること。場所、数量については別途指示する。
- キ 左胸部に「市川市消防局」背面に「市川市消防局」「水難救助隊」と記入する。文字の大きさ、位置、色については当局と別途協議すること。

3 ドライスーツ（TUSARS119D1A）

（1）生地

表地は発色性と伸縮性に優れた LYCRA ジャージを使用し、裏地には保温性を重視したエラスティックシートを使用すること。生地厚は5.5mm以上とする。

（2）ファスナー

ファスナーは防水構造を有するものとし、水中でもファスナーが露出しないよう保護する構造とすること。

（3）給気弁

胸部に中圧ホースと脱着可能な360度回転式の給気弁を取り付けること。

（4）排気弁

左腕部に手動、または自動で排気量を調整可能な排気弁を取り付けること。

（5）ブーツ

ラジアルコーティングを施し、濡れた路面でも滑りにくい構造とすること。また、踏み抜き防止のための中敷きを装備すること。

（6）リフレクター

リフレクター（反射材）を取りけること。場所、数量については別途指示する。

（7）パット

肘及び膝部分に1mm程度のゴム製パットを張り付けること。

（8）フード

フードを取り付けること。

（9）名入れ

胸部に「市川市消防局」、背面に「千葉県」「市川市消防局」「水難救助隊」と記入すること。文字の大きさ、色、字体について当局と別途協議すること。

第5 検 査

- 1 中間検査は、ぎ装完成前に当局と協議し実施する。
- 2 完成検査は、全ぎ装が完了し、積載品等が全て用意された状態で実施する。
- 3 各検査を受けようとするときは、2週間前までに書類で提出する。
- 4 各検査には、営業及び技術担当者が立ち合うものとする。
- 5 検査項目
 - (1) 性能検査
 - (2) ぎ装検査
 - (3) 付属品等検査
 - (4) 検査については、一部省略または社内データをもって代えることもある。
 - (5) 検査の結果不合格と認めた箇所については、直ちに修復のうえ再検査を受けること。

第6 保 証

保証期間はメーカーが保証する期間とし、定められていない場合は2年間とする。ただし、シャシ及び製作者側に起因する不都合箇所が生じた場合は保証期間後も無償で修復または修理すること。

第7 そ の 他

- 1 車両の納入場所は当局とする。
- 2 車両及び積載機器等の使用に必要な付属品等は全て省かず納入すること。
また、車両や資機材のメーカー標準付属品についても同様とする。
- 3 納車時、各種資機材は全て使用可能状態で納品すること。
- 4 本仕様で協議が必要な場合は受注者、発注者が協議の上、誠意を持って対処すること。
- 5 仕様内に工業権（特許権）がある場合は、受注者が解決を図ること。
- 6 全ぎ装完了後、陸運局の新規登録検査を受け、合格後納車することとし、一切の費用は、受注者側において負担するものとする（重量税、自賠責保険、自動車リサイクル料は納入後、別途精算とする）。

第8 別表 資機材

1 シヤシ

番号	品名	数量	摘要
1	シヤシ	1	標準付属品含む

2 シヤシ装備品

番号	品名	数量	摘要
1	フロントバンパースポイラー	1	
2	電動格納式ミラー	1	
3	LEDヘッドランプ	1式	純正品
4	LEDフォグランプ	1式	純正品
5	バックランプ	1式	小糸製コンビネーションランプ
6	サイドバイザー	1式	純正品
7	サンバイザー	1式	
8	フェンダープロテクター	1式	純正品
9	GPS カーナビ	1	
10	泥よけゴム	1式	純正品
11	エアコン	1式	純正品
12	ドライブレコーダー	1	Yupiteru 製 法人トラック用ドライブレコーダー、2カメラ、常時録画、GPS 搭載 32microSDHC×4
13	車幅灯・路肩灯	1式	LED
14	電流計・電圧計・油温計	1式	
15	LED 室内灯	1式	キャブ、収納庫内
16	デジタル時計	2	キャブ内及び収納庫内
17	バックアイカメラ	1	カラー
18	ナンバーフレーム	1	車体前後フレーム
19	車両標準工具	1	工具及び油圧ジャッキ
20	フロアマット	1式	純正品
21	三角反射板	1	純正品
22	工具セット	1	KTC SK3561WZR

番号	品名	数量	摘要
23	スペアキー	3	リモコンキー キーホルダー含む
24	タイヤチェーン		
25	パワーゲート	1	本文参照
26	ボート手動昇降装置	1	本文参照

3 シャシ取付品

番号	品名	数量	摘要
1	散光式赤色警告灯	1式	ハイルーフ一体型
2	補助赤色点滅灯 (フロントグリル又はバンパー)	2	パトライト LPT-1M1
3	補助赤色点滅灯 (フロントバンパー両側面)	2	パトライト LPT-1M1
4	両側面赤色点滅灯及び作業灯	8式	パトライト LP5-M1 パトライト LP5-M1-W
5	後部赤色点滅灯及び作業灯	2式	パトライト LP5-M1 パトライト LP5-M1-W
6	電子サイレン	1式	パトライト SAP-520 若しくは同等品
7	モーターサイレン	1式	大阪サイレン 6SA型 若しくは同等品
8	車上照明	1式	本文参照
9	消防章	1	
10	パワーゲート	1式	
11	清水タンク	1式	
12	簡易シャワー	1式	

4 積載資器材

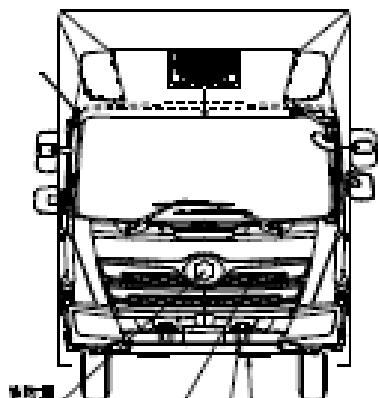
番号	品名	数量	摘要
1	水難用空気ポンプ	10	メリコンスチールタンク 10リットルポンプ、予備Oリング、 タンクキャップ、タンクブーツ付き

番号	品名	数量	摘要
2	ボンベ検圧計	1	東亜潜水
3	レスキューB. C. ジャケット	5	TUSA BCJ119-01 オクトパス機能付きインフレーター装着モデル 千葉県 市川市消防局」名入り
4	レギュレーター	5	TUSA RS340BK
5	オクトパス	5	TUSA SS10S
6	3ゲージ	5	TUSA SCA360JS
7	マスク	16	TUSA M27QBL OR くもり止め液5本付き
8	マスクストラップ	16	TUSA ロングタイプ
9	スノーケル	16	TUSA SP461QB OR
10	リストコンパス	5	TUSA SCA160J
11	ダイブコンピューター	5	スキューバプロ A1
12	潜水用ヘルメット	16	アクアラング ハーフカットタイプ 「市川市消防局」「ICHIKAWA CITY FIRE BEREAU」名入れ
13	ウェットスーツ	16	本文参照
14	ドライスーツ	16	本文参照
15	水難救助用グローブ 夏用	16	トンボ N-903N
16	水難救助用グローブ 冬用	16	アクアラング 3mm サーモグローブ
17	ダイビングブーツ	8	
18	レスキューフィン	1式	TUSA SF5SP HOR M×5 L×5
19	フィンストラップ	1式	TUSA スプリングストラップ TJ81J M×5 L×5
20	スローバッグ	1	TOHATSU 急流救助用2.2m ガイドベルト付き

番号	品名	数量	摘要
21	ライフジャケット	8	NRS ラピッドレスキュー PFD イエロー 「市川市消防局」「水難救助隊」名入れ
22	水中ライト	5	TUSA TLO002BK
23	ダイバーナイフ	5	TUSA FK21OSS
24	レスキューハンマー	1	FIRE RESCUE EMS
25	ウエイトベルト及びステンレスバックル	5	
26	ウエイトベルト	5	
27	ウエイト	5式	1 kg、2 kg
28	ウエイトベスト型	5	スクーパープロ
29	制動式潜降策（IBAP）	1	赤城工業株式会社製
30	レスキュースレッド	1	URA 製 RS3
31	水中通話装置	1	水中アンプ DRS-100B 水中スピーカー（海用）LL-98
32	カラビナ	12	大カラビナ×2 スーパーカラビナ×4 小カラビナ×6
33	フローティングロープ	2	100m
34	拡声器	1	レイニーメガホンタフ PLUS
35	落水者・負傷者リカバリーシステム	1	URA ファイバーライト・クレードル
36	水中カメラ	1	ヨネ ソナープラスメガ 補助バッテリー付き
37	磁気式水中ノート	1	ミニクエスト
38	隊員用バッグ	5	TUSA 大容量メッシュバッグ ブラック
39	船外機	1	本文参照
40	水温計	1	デジタル水温計ペン型

番号	品名	数量	摘要
4 1	水深計	1	超音波水深器
4 2	水難救助用アンカー	4	赤尾製 20kg
4 3	救命浮環	9	NS-770型×4 NS-39型×5
4 4	ロープ固定・降下器	3	ペツル アセッション
4 5	ウェット・ドライスーツ用 ハンガー	26	
4 6	レスキューボード	1	GUARDレスキューボード
4 7	フィン交換用ストラップ	10	スクーバプロ製
4 8	目隠し用テント	1	さくらコーポレーション おたすけテント2又は同等品
4 9	隊名シール	100	「大洲水難1」大30、小70

水難救助車 概要図



令和3年度
水難救助車

呼 称 市川大洲水難1
配置場所 西消防署大洲出張所

